

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公表番号】特表2008-542490(P2008-542490A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-514096(P2008-514096)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/00 (2006.01)

C 0 8 G 18/66 (2006.01)

C 0 8 G 18/42 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/00 F

C 0 8 G 18/66 F

C 0 8 G 18/42 F

C 0 8 G 101:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年8月29日(2012.8.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項11

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項11】

イソシアネート(a)とイソシアネートに対して反応性の化合物(b)のイソシアネートに対して反応性の基ならびに場合によっては連鎖延長剤および/または架橋剤(c)との反応を950~1050のインデックスで実施する、請求項1記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

イソシアネート(a)とイソシアネートに対して反応性の化合物(b)および連鎖延長剤(c)との反応は、通常のインデックス、有利に1010未満の特性値で行なうことができる。この特性値は、全体的に反応の際に使用される、成分(a)のイソシアネート基と成分(b)および(c)の、イソシアネートに対して反応性の基、即ち反応性水素との比によって定義される。1000の特性値の場合には、成分(a)のイソシアネート基に対して、成分(b)および(c)の活性水素原子、即ちイソシアネートに対して反応性の官能基が使用される。1000を上回る特性値の場合には、複数のイソシアネート基は、OH基として存在する。特に有利には、イソシアネートとイソシアネートに対して反応性の基ならびに場合によっては連鎖延長剤および/または架橋剤(c)との反応は、950~1050の特性値で実施される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

Boltorn (登録商標) H20 : 樹枝状ポリエステルアルコール、 M_w : 2100 g/mol、多分散度 : 1.3、 T_g : 30、OH価 : 490 ~ 530 mg KOH/g、酸価 : 9 mg KOH/g 最大、

Boltorn (登録商標) H30 : 樹枝状ポリエステルアルコール、 M_w : 3500 g/mol、多分散度 : 1.5、 T_g : 35、OH価 : 480 ~ 510 mg KOH/g、酸価 : 10 mg KOH/g 最大、

Boltorn (登録商標) H40 : 樹枝状ポリエステルアルコール、 M_w : 5100 g/mol、多分散度 : 1.8、 T_g : 40、OH価 : 470 ~ 500 mg KOH/g、酸価 : 11 mg KOH/g 最大、

DBTDL : ジブチル錫ジラウレート。